

まどかっ子の学力(全国学力・学習状況調査より)

4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果が発表されました。この調査は、毎年全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に行われるものです。調査は、教科(国語、算数、理科)と質問調査(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等)です。

(数字は平均正答率)

| | 国語 | 算数 | 理科 |
|-------|-------|-----|-----|
| 円山小学校 | 74% | 67% | 65% |
| 福井県平均 | 69% | 60% | 61% |
| 全国平均 | 66.8% | 58% | 57% |

福井県は、国語、算数、理科ともに全国でも上位の成績となっています。本校6年生は、その県平均を上回る大変素晴らしい結果が出ています。

円山小学校では、これらの内容を分析し、どのような力を求められているのかを考えました。

ここでは、全国平均や県平均よりも正答率が低かったものと、全国平均や県平均よりも正答率は高かったが課題があるものを掲載します。【今回は理科についてお知らせします。】

【理科】

本校の特徴(○良好●課題)

○ベルをたたく装置の電磁石について、電流がつくる磁力を強めるため、コイルの巻き数の変え方を書く。

(円山小 96.2%、県 81.3%、全国 78.0%)

○ヘチマの花のおしべとめしべについて選び、受粉について書く。

(円山小 88.5%、県 79.6%、全国 70.7%)

●顕微鏡の適切な操作が身につけていない。

・ヘチマの花粉を顕微鏡で観察するとき、適切な像にするための顕微鏡の操作を選ぶ。

(円山小 39.7%、県 48.0%、全国 45.6%)

(2) けんび鏡を操作したとき、キとクのように、操作する前と後で見え方が変化しました。キとクはどのような操作をしたのか、下の1から4の中からそれぞれ1つ選んで、その番号を書きましょう。

像を中心に
移動させる

操作する前

操作した後

キ

像をはっきり
見えるように

ク

①対物レンズをちがう倍率のものにした

②プレパラートを動かした…キの答え

③明るさを調節した

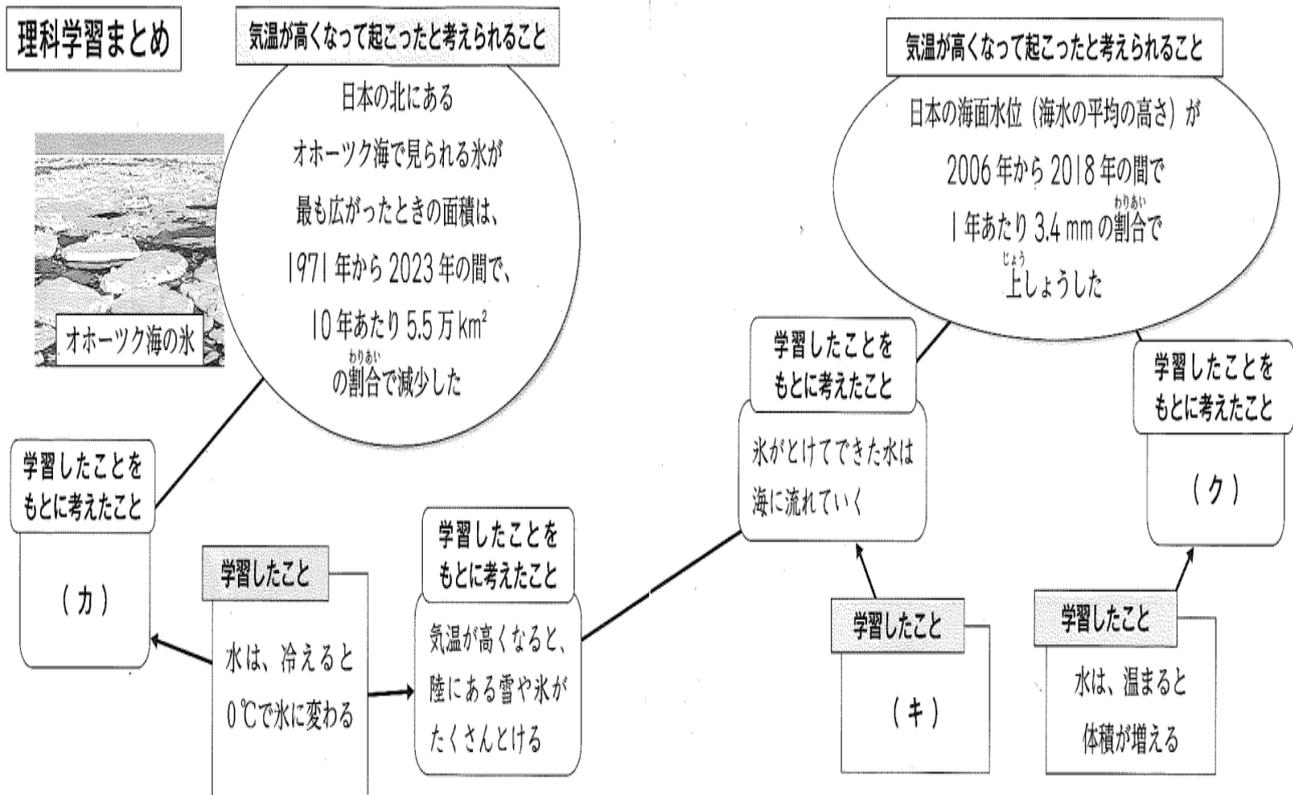
④調節ねじを回した…クの答え

<今後取り入れていくこと>

・顕微鏡を実際に使用して、像をのぞき像の変化を視覚的に感じながら、顕微鏡の操作方法を学習する。

●実験から分かったことを一般化する力

- ・カ 海にある氷がとけることについて、水が氷に変わる温度を根拠に予想しているものを選ぶ
(円山小 59.0%、県 59.2%、全国 59.8%)
- ・キ 水が陸から海へ流れていくことについて、水の行方と関連付けているものを選ぶ
(円山小 62.8%、県 62.8%、全国 60.9%)
- ・ク 海面水位の上昇について、水の温度による体積の変化を根拠に予想しているものを選ぶ
(円山小 71.8%、県 68.5%、全国 65.6%)



図の(カ)から(ク)の中には「学習したこと」や「学習したことをもとに考えたこと」が入ります。(カ)から(ク)の中あてはまるものを、次の1から4の中からそれぞれ1つずつ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 海水は、温まる水と同じように体積が増える・・・クの答え
- 2 海の氷は、平均気温が高くなるとできにくくなる・・・カの答え
- 3 氷は、高い場所から低い場所へと流れる・・・キの答え
- 4 水は、氷になるとき体積が増える

<今後取り入れていくとよいこと>

観察・実験などから得られた結果を、事実と自分の考えに分けて、正確に分析・解釈できるようにする。また、規則性や法則性を見いだせるように適切な表現(グラフや表、図など)で視覚化してまとめる活動を充実させる。